



共に！

～生徒・保護者・地域・職員～

長崎市立三和中学校
令和5年度学校だより No.7
令和5年9月15日(金)
文責 校長 赤塚竜造

平和集会～9月1日～

台風のための延期となった平和集会。各学年、素晴らしい発表でした。

令和5年度 三和中学校 平和宣言文

日本は今年戦後78年を迎えました。今でも放射線による後遺症、大切な人を失った悲しみなど肉体的にも精神的にも苦しんでいる方がたくさんいます。被爆者の方々も高齢化が進み、年々少なくなってきました。戦争により苦しんだ方から直接お話を聞けるのも、私達が最後の世代と言われています。

今年三和中学校では各学年のテーマのもと平和学習を行ってきました。

1年生は、「知る」というテーマで、フィールドワークを中心に長崎の原爆について学びました。

2年生は、「広げる」というテーマで、沖縄戦や東京大空襲について学びました。

3年生は、「発信、表現」というテーマで、「ふりそでの少女」の朗読劇、「千羽鶴」の合唱、活水高校の方との意見交換を通して、平和をどう発信、表現していくかを学びました。

【被爆体験講話 八木さんの話を聞いて】

原子爆弾という名前が分かっていた戦争当時でも「ピカドン」という名前があったそうです。この名前が得体も知れない爆弾が目の前に落ちる恐ろしさを語っています。

「何があっても原子爆弾を使ってはいけない」

この言葉が強く心に残りました。だから私達は、被爆者の思いや願いを受け継ぎ、これらのことを後世に伝えていきたいです。

世界は今も、終わりの見えないロシアとウクライナの戦争などで苦しんでいる人達がたくさんいます。今年5月広島でG7サミットが行われ、ウクライナに対して外交、財政、人道、軍事支援提供をするということで一致するとともに、ウクライナに平和を取り戻し、核兵器を使わないことの重要性、「核戦争に勝者はなく、核戦争は決して行ってはならないこと」を確認しました。

そして日本も他国に比べると平和に見えますが、いじめや差別、それによる自殺が起っています。このようなことが起こらない世界を作っていくために、私達は、過去を学び未来につなげる平和学習を行い、すべての人が平和に暮らせる世界を願ってこの平和宣言を作成しました。

私達は…

「自分のために、自分たちだけのために」という欲望だけでなく、相手の立場に立てる人が増え感謝しあい、互いの意見を尊重しあえる社会にするために…

ひとりひとり違った考えがあることを理解しあい、多くの人の意見を聞くこと。

人に自分の意見を理解してもらえるように、人の意見を理解するように、それぞれが努力し、意見が言いやすい雰囲気を作っていくこと。

そしてこれらを、学級、学年、学校、世の中に広めることを目指し、ここに宣言します。

令和5年8月9日 三和中学校 生徒一同



お礼

9月10日(日)にPTA除草作業を行いました。

お休みの日にもかかわらず、多数ご参加いただきありがとうございました。

おかげさまで校舎周辺、グラウンドがきれいになりました。

美しくなった環境のもと子ども達は学習・部活動にさらに励むことができます。

今後とも三和中をよろしく願います。

